

市政運営の基本的な考え方と主要な施策

土方 「第4次狭山市総合計画など各種計画を進展」とあるが、特色は。

市長 人口減少社会を前提としつつも、施策の実現により、魅力的で暮らしやすい持続可能なまちづくりを目指している。

西塚 重点テーマの一つ「若い世代を増やす」で、就任前と現在の若年層の比率は。

市長 15歳から34歳の人口を1月1日現在で比較すると、平成27年が20・6%、29年が19・9%で、1千283人の減となっている。



市長 入曽駅周辺整備は、速やかな事業の展開が求められており、コンパクトで機能性の高いロータリーを、年数をかけずに完成させることが必要。入曽駅周辺を何年計画で、どのようなまちにしたいのか。

中村 入曽駅周辺整備は、速やかな事業の展開が求められており、コンパクトで機能性の高いロータリーを、年数をかけずに完成させることが必要。入曽駅周辺を何年計画で、どのようなまちにしたいのか。

市民に寄り添った事業の展開を



はつらつ中村 正義

市長 29年度に基本計画を取りまとめ、早期の工事着手を目指す。安全性と利便性を高めるため、入間小学校跡地を中心に、駅東西の駅前広場や道路の整備、民間施設の立地などを行う。

活力的な産業を育てるまちをめざして

三浦 地元農産物を活用し、農工商が連携した新商品の開発実績は。また、今後開発の可能性のある農産物は。市長 狭山市産の煎茶でつくったチョコレートが2月

予算案の総括

齋藤 歳入の根幹である市税全般を、前年度対比1・8%増の214億6千966万8千円と見込んだ根拠は。



公明党 齋藤 誠

市長 市民税は、内閣府発表の月例経済報告で緩やかな回復が続いているとされ、また、28年12月の所沢地区の有効求人倍率が1・7倍

予算案の概要

緑豊かで環境と共生するまちをめざして

西塚 ごみ収集日程の見直



創造 西塚 和音

で、引き続き上昇傾向にあることなど。固定資産税は、家屋の新増築の増加、軽自動車税は、近年の軽四輪車の登録増を踏まえて計上した。

から質問!

市長の施政方針 各会派 市長に

が平成29年度の市政運営の基本的各会派の代表がそれぞれ質問を行い市長の答弁から、要旨を体系に

第1回定例会で、小谷野剛市長が平成29年度の市政運営の基本的な考えと重点施策の概要を述べ、各会派の質問に沿ってお知らせします。



しは、市民に負担のかからないものとなっているか。また、学校、自治会、市民団体などの協働でリサイクルを促進させ、コストを削減していく考えは。

市長 びん・缶の収集を2週に1回から月2回へ減らして経費を削減。収集日が重なる9地区を見直して収集日を分かりやすくし、業務の効率化も図る。また、資源ごみのリサイクル促進には、市民団体などの協働が肝要と考える。

幸せに生き生きと暮らせるまちをめざして

中村 身元引受人のいない高齢者が住みなれた狭山市で安心して暮らしていくための支援は。

市長 地域包括ケアシステム構築の中で、県の「住まい安心支援ネットワーク」と

の連携を図り、住みなれた地域で住居が確保できる支援体制づくりを進めていく。

快適な都市空間を形成するまちをめざして

猪股 地域公共交通会議での協議にあたっては、生活に必要な移動手段が確保で



日本共産党 猪股 嘉直

きるように、多角的な検討を行うことは、専門家や地域住民の意見聴取などが重要である。公聴会の開催や臨時委員の補充を求めるが、見解は。

市長 会議は、行政だけでなく交通事業者や市民など関係主体が協議できる場として、道路運送法に基づき設置するもので、公共交通全般の幅広い議論に期待している。公聴会の開催や臨時委員の補充は、現時点では考えていない。

600万円の収入減。

今後は、地元産業の活性化や市のPRにつながる魅力ある返礼品の追加など、制度の充実に取り組む。



新政みらい 土方 隆司

結びに

土方 「必要なものは、どんな状況にも耐え得る財政と時代に合わせた改革の決意、希望を生み出す知恵とチームワーク、そして、狭山市の将来を信じる市民の力で、必ず実現できる」と断言する市長の思いとは。

市長 自治体を取り巻く環境は厳しいが、どんな状況でも活路を見い出す覚悟を述べた。行政、議会、市民、狭山市にかかわるすべての人に「私たちは必ずできる」と信じ、手を携えてまちづくりに取り組もう、という思い。ともに、狭山市の健全な発展を目指したい。